

卵巣転移、巣径リンパ節転移に関する研究

1. 研究の対象

- ・卵巣転移 2000年1月～2014年12月に大腸がん卵巣転移と診断された患者さん
- ・巣径リンパ節転移 1997年1月～2011年12月に大腸がん巣径リンパ節転移と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

各施設から集められた情報を分析し、下記を明らかにします。

- ・卵巣転移、巣径リンパ節転移の臨床病理学的特徴と予後
- ・卵巣転移、巣径リンパ節転移に対する外科的切除の意義
- ・卵巣転移を腹膜転移と分類することの妥当性
- ・肛門管癌における巣径リンパ節転移の位置づけ

この調査結果は、今後より良い大腸がん治療を行うにあたり大変役立つ情報となります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目：年齢、性別、大腸がん治療に関する診療情報、卵巣・巣径リンパ節転移における診療情報、治療効果、再発の有無、予後など

4. 外部への試料・情報の提供

調査データは、個人を特定する情報をいっさい含まない形で研究事務局に集められます。

5. 研究組織

愛知県がんセンター中央病院 消化器外科	小森 康司	
大阪国際がんセンター 消化器外科	大植 雅之	
がん・感染症センター都立駒込病院 外科	高橋 慶一	
癌研有明病院 大腸外科	小西 毅	
久留米大学 外科	赤木 由人	
国立がん研究センター中央病院 大腸外科	塚本 俊輔	
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科	山口 茂樹	
滋賀医科大学 外科学講座	清水 智治	
静岡県立静岡がんセンター 大腸外科	賀川 弘康	研究事務局
順天堂大学 大腸肛門外科	坂本 一博	
東京医科歯科大学 消化管外科学	絹笠 祐介	研究代表者
東京大学 腫瘍外科	野澤 宏彰	
栃木県立がんセンター 大腸骨盤外科	小澤 平太	

名古屋大学 腫瘍外科	上原 圭介
新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科	瀧井 康公
藤田保健衛生大学 国際医療センター	前田耕太郎
日本医科大学 消化器外科	進士 誠一
松山赤十字病院 外科	南 一仁
三重大学 消化管外科	廣 純一郎
山形県立中央病院 外科	須藤 剛

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

大阪国際がんセンター 消化器外科 大植雅之

住所: 〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者:

大腸癌研究会プロジェクト研究 『卵巣転移、単径リンパ節の取り扱い』委員長

東京医科歯科大学 消化管外科学 絹笠祐介

研究代表者:

東京医科歯科大学 消化管外科学 絹笠祐介

以上